

5/15 朝日

介護保険料 初の6000円超

65歳以上の平均、月304円

今後も負担増に

65歳以上が支払う介護保
険料の基準額(2021、
23年度)は、全国平均が月
額6014円と初めて6千

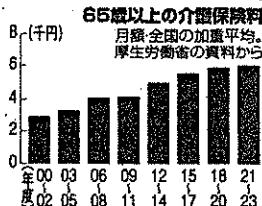
円を超えた。4月に3年ぶ
りに見直され、前回見直し
から145円(2・5%)
上昇した。厚生労働省が14

年も高い大阪府と沖縄県が6
割)をのぞく費用の半分は
保険料、半分は税金でまか
なうしくみ。65歳以上の保
険料は市区町村ごとに3年

ごとに見直される。基準額
の全国加重平均は介護保
険制度が始まった00年度は月
額2911円だったが、約

20年で2倍以上になった。
都道府県別でみると、最
も高い大阪府と沖縄県が6
826円、最も低い千葉県
で5385円だった。基準
額が増える大きな要因は、
高齢者の増加だ。要介護や
要支援に認定された人は2

47万人(00年度)から66
7万人(20年度)と3倍近く
に増加。介護従事者の待遇
改善などを図るため、介護
報酬を4月から0・7%引
き上げたことも引き上げに
影響している。団塊の世代
がすべて75歳以上になる25
年には、要介護・要支援の人
が745万人に達する見通
しだ。厚労省は今回、機械的
に計算する25年度の介護
保険料は6856円になる
と明らかにした。(石川友恵)



上がる保険料「過酷な制度」

嘆く高齢者 年金は減る一方



コロナ禍での介護風景。マスクをして、感染防止に気を配る=2020年12月、辻健治撮影

65歳以上の介護保険料
月額 全国の加重平均
厚生労働省の資料から

千円を超えた。高齢化を社会に支える仕組みだが、高齢者自らの負担は増え続け、生活はいわじと厳しくなっている。

大阪市東住吉区に住む伊藤一正さん(76)は、妻(76)

と2人で年金暮らし。大阪市の介護保険料の基礎額

はこれまでより16.7円上

がつて月89.94円になっ

た。伊藤さんの場合、年間

の世帯の支払いは20万39

69円になる見込みだが、

年金支給額は今年度から

・1%減額される。

貯金を崩しつつ、慶弔関係の支出や、孫への進学祝いの費用などを少しすつ抑えたり、外食の回数を減らしたりして節約をしてきた。「私も妻も介護サービ

スは受けていないので、一

眼なく上がっていくよう

で、とても過酷な制度に恩

は受けない」と不満を漏らす。

2人を扶う妻の負担増

の負担も増える一方だ。

74

北海道	5693	(1.4%)
森	6672	(1.3%)
手	6033	(1.3%)
城	5939	(2.4%)
田	6487	(1.4%)
形	6110	(0.8%)
島	6108	(0.8%)
城	5485	(2.7%)
木	5656	(2.9%)
馬	6136	(1.0%)
玉	5481	(8.4%)
葉	5385	(2.3%)
京	6080	(2.9%)
神奈川	6028	(5.1%)
湯	6302	(2.0%)
山	6301	(4.5%)
川	6349	(0.3%)
井	6242	(2.8%)
梨	5783	(-1.0%)
野	5623	(0.5%)
阜	5931	(2.9%)
岡	5681	(5.1%)
知	5732	(3.7%)
黒	6174	(1.1%)
都	6328	(3.2%)
阪	6826	(2.9%)
鹿	6001	(1.8%)
良	5851	(3.2%)
和歌山	6541	(0.0%)
取	6355	(-1.2%)
根	6379	(0.9%)
山	6271	(3.4%)
鳥	5985	(0.4%)
口	5446	(-1.0%)
島	6477	(3.1%)
川	6204	(0.6%)
媛	6409	(0.7%)
知	5814	(2.2%)
箇	6078	(1.4%)
賀	5984	(0.4%)
崎	6254	(-0.1%)
本	6240	(-2.1%)
分	5956	(2.9%)
崎	5955	(2.9%)
鹿	6286	(2.4%)
沖	6826	(-0.4%)
縦	6014	(2.5%)

歳までが対象となる国民健	歳までの場合は、6
康保険料は、19年度が1人	歳以上の支払う介護保険料の全国平均が初めて6
あたり年9万283円。5	千円を超えた。高齢化を社会に支える仕組みだが、高
年前の14年度の8万668	齢者自らの負担は増え続け、生活はいわじと厳しく
7円から9万554円増えて	なっている。
いる。政府は40年度には	5/15 玉川
年10万円超となる見込	

75歳以上が入る後期高齢者医療制度も、2021年度の全国平均の保険料額は月	75歳以上が入る後期高齢者医療制度も、2021年度の全国平均の保険料額は月
52,49円から千円以上増	52,49円から千円以上増
すれば、2022年度後半	すれば、2022年度後半
から病院や診療所などで支	から病院や診療所などで支
払う自己負担額が増える。	払う自己負担額が増える。
伊藤さんも対象になる見込	伊藤さんも対象になる見込
みだ。「負担ばかり増して	みだ。「負担ばかり増して
いる。社会保障の制度自体	いる。社会保障の制度自体
が限界にきているのではど	が限界にきているのではど
う感じ」と語す。	う感じ」と語す。

が払う保険料を増やす仕組みになつて。現役世代の減少が加速化する今後も、高齢者医療も年金などの負担が増えやすくなっている。
近い制度改革は、現役世代の負担が増えすぎないよ
うにすることに主眼を置く。その分、高齢者の負担が増えやすくなっている。
(右)友憲(久慈謙一)
府は試算する。

保険料負担などの支出は	保険料負担などの支出は
増える一方で、高齢者の主	増える一方で、高齢者の主
な収入である年金は今後も	な収入である年金は今後も
減っていく。厚生労働省が	減っていく。厚生労働省が
このままでは障害	なく増え、後に生まれた世
での自己負担を1割から2	代ほど損をする。負担割合
割に引き上げる法案が今国	の改定などの施策は一時し
会で衆院を通過した。成立	めのきでしかなく、抜本的な
すれば、2022年度後半	見直しが必要だ。
から病院や診療所などで支	自治体が保険料をあらか
払う自己負担額が増える。	じめ余分にとっておき、足

が払う保険料を増やす仕組みになつて。現役世代の減少が加速化する今後も、高齢者医療も年金などの負担が増えやすくなっている。
近い制度改革は、現役世代の負担が増えすぎないよ
うにすることに主眼を置く。その分、高齢者の負担が増えやすくなっている。
(右)友憲(久慈謙一)
次世代ほど損抜本見直しを

が払う保険料を増やす仕組みになつて。現役世代の減少が加速化する今後も、高齢者医療も年金などの負担が増えやすくなっている。
近い制度改革は、現役世代の負担が増えすぎないよ
うにすることに主眼を置く。その分、高齢者の負担が増えやすくなっている。
(右)友憲(久慈謙一)
次世代ほど損抜本見直しを